

様式第5-イ(5)

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書イ(5)

[営んでいる事業が指定業種及び非指定業種に属する場合<主たる業種(注1)が指定業種である場合の申請用>]

令和 年 月 日

広島市長 様

(申請者) 事業所住所

氏 名

実印

私は、_____業(注2)を営んでいますが、新型コロナウイルス感染症の影響に起因して、下記のとおり、売上高等の減少が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

注1) 主たる業種とは、最近1年間の売上高が最も大きい事業が属する業種。

注2) 主たる業種を日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名で記載。

記

売上高等(認定要件:(1)、(2)とも減少率≧5%)

(1) 最近1か月間の売上高又は最近6か月間の平均売上高(該当する方の□に✓を入れてください)

{(B-A) ÷ B} × 100

主たる業種の減少率 % (実績)

{(b-a) ÷ b} × 100

企業全体の減少率 % (実績)

(小数点第2位以下切捨て、第1位まで記載)

A・a: □ 最近1か月間の売上高(令和 年 月)

□ 最近6か月間の平均売上高(令和 年 月から令和 年 月)

A: 主たる業種の売上高 千円

a: 企業全体の売上高 千円

B・b: Aの期間に対応する前年等1か月間の売上高

B: 主たる業種の売上高 千円

b: 企業全体の売上高 千円

(2) (1)の期間を含めた今後3か月間の売上高の実績見込み

{(B+D) - (A+C)} ÷ (B+D) × 100

主たる業種の減少率 % (実績見込み)

{(b+d) - (a+c)} ÷ (b+d) × 100

企業全体の減少率 % (実績見込み)

(小数点第2位以下切捨て、第1位まで記載)

C・c: Aの期間後2か月間の見込み売上高

C: 主たる業種の売上高 千円

c: 企業全体の売上高 千円

D・d: Cの期間に対応する前年等2か月間の売上高

D: 主たる業種の売上高 千円

d: 企業全体の売上高 千円

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

広 産 産 第 号

令和 年 月 日

申請のとおり相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

認定者名

広島市長

松井 一實

印

売上高確認表

1. 主たる業種の確認

(単位:千円)

	日本標準産業分類		最近1年間の売上高 (直近ベース)	構成比	主たる業種に 「○」を記入
	細分類番号	細分類業種名			
指定業種				%	
				%	
				%	
	小計			%	
非指定業種				%	
				%	
企業全体				100%	

※主たる業種とは、最近1年間の売上高等が最も大きい事業が属する業種をさします。

※この表の業種は「日本標準産業分類(平成25年10月改定)」に基づき細分類番号と細分類業種名を記載してください。

2. 指定業種の売上高の確認

【最近1か月(又は最近6か月間の平均)を含めた今後3か月分の売上高及び売上高見込み】

売上高	令和 年 月	令和 年 月	令和 年 月	Aの期間後2か月間 の見込み売上高	今後3か月 合計売上高
指定業種 (注1)	A 千円	C1 (見込み) 千円	C2 (見込み) 千円	C=C1+C2 千円	E=A+C 千円
企業全体	a 千円	c1 (見込み) 千円	c2 (見込み) 千円	c=c1+c2 千円	e=a+c 千円

※A・aにおいて「最近6か月間の平均売上高」を使用する場合、A・aの年月を2重線で消し、「令和〇年〇月～〇月の平均」と記載してください。この場合、下のB・bの年月も同様に記載してください。

※千円未満切捨てで記載してください。

【前年同期の売上高】

前年(※)	令和 年 月	令和 年 月	令和 年 月	Bの期間後2か月間 の売上高	前年同期 合計売上高
指定業種 (注1)	B 千円	D1 千円	D2 千円	D=D1+D2 千円	F=B+D 千円
企業全体	b 千円	d1 千円	d2 千円	d=d1+d2 千円	f=b+d 千円

(注1) イ(5)の場合、[1. 主たる業種の確認]で確認した指定業種のうち、主たる業種の売上高を記入してください。

(※)前年同期のいずれかの月が本感染症の影響を受けた後の期間に含まれる場合、当該月に代えて本感染症の影響を受ける直前同期(前々年等)の月を比較対象とします。

3. 最近1か月間(又は最近6か月間の平均)の売上高の減少額

指定業種	$B - A =$	千円	企業全体	$b - a =$	千円
------	-----------	----	------	-----------	----

4. 3の期間を含めた3か月間の見込み売上高の減少額

指定業種	$F - E =$	千円	企業全体	$f - e =$	千円
------	-----------	----	------	-----------	----

上記の内容について、事実に相違ありません。

令和 年 月 日

(申請者)事業所住所

氏 名
(名称及び代表者名)

実印

売上高確認表

イ(5)記載例

【様式5-イ(4)~(6)添付書類】

1. 主たる業種の確認

(単位:千円)

業種	日本標準産業分類		最近1年間の売上高 (直近ベース)	構成比	主たる業種に 「○」を記入
	細分類番号	細分類業種名			
指定業種	7621	日本料理店	10,000	66.7%	○
				%	
	小計		10,000	66.7%	
非指定業種	5895	料理品小売業	5,000	33.3%	
				%	
企業全体			15,000	100%	

※主たる業種とは、最近1年間の売上高等が最も大きい事業が属する業種をさします。
 ※この表の業種は「日本標準産業分類(平成25年10月改定)」に基づき細分類番号と細分類業種名を記載してください。

※を参考に、非指定業種の売上高を除いた、指定業種の売上高のみを記入してください。

2. 指定業種の売上高の確認

【最近1か月(又は最近6か月間の平均)を含めた今後3か月分の売上高及び売上高見込み】

令和3年8月~令和4年1月の平均

最近6か月間の平均売上高を使用する場合

売上高	令和3年8月	令和4年2月	令和4年3月	Aの期間後2か月間の見込み売上高	今後3か月合計売上高
指定業種(注1)	A 600千円	C1(見込み) 400千円	C2(見込み) 550千円	C=C1+C2 950千円	E=A+C 1,550千円
企業全体	a 1,000千円	c1(見込み) 1,250千円	c2(見込み) 1,250千円	c=c1+c2 2,500千円	e=a+c 3,500千円

※A・aにおいて「最近6か月間の平均売上高」を使用する場合、A・aの年月を2重線で消し、「令和〇年〇月~〇月の平均」と記載してください。この場合、下のB・bの年月も同様に記載してください。
 ※千円未満切捨てで記載してください。

令和2年3月から新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた場合。

【前年同期の売上高】

令和元年8月~令和2年1月の平均

平成

前年(※)	令和3年8月	令和2年2月	令和31年3月	Bの期間後2か月間の売上高	前年同期合計売上高
指定業種(注1)	B 900千円	D1 950千円	D2 900千円	D=D1+D2 1,850千円	F=B+D 2,750千円
企業全体	b 1,800千円	d1 1,500千円	d2 1,400千円	d=d1+d2 2,900千円	f=b+d 4,700千円

(注1) イ(5)の場合、「1. 主たる業種の確認」で確認した指定業種のうち、主たる業種の売上高を記入してください。

(※)前年同期のいずれかの月が本感染症の影響を受けた後の期間に含まれる場合、当該月に代えて本感染症の影響を受ける直前同期(前々年等)の月を比較対象とします。

3. 最近1か月間(又は最近6か月間の平均)の売上高の減少額

指定業種	$B - A =$	300千円	企業全体	$b - a =$	800千円
------	-----------	-------	------	-----------	-------

4. 3の期間を含めた3か月間の見込み売上高の減少額

指定業種	$F - E =$	1,200千円	企業全体	$f - e =$	1,200千円
------	-----------	---------	------	-----------	---------

上記の内容について、事実と相違ありません。

令和 4年 2月 1日

(申請者)事業所住所 広島市中区国泰寺町〇丁目〇-〇

氏名 株式会社△△ 代表取締役 □□ □□ 実印

(名称及び代表者名)